

再生会議案 実現に難題

文科省・現場の反発も

10/12/2 朝日

「ゆとり教育」見直し「ダメ教師」排除
その前日、教育再生会議の第1分科会が「ゆとり教育」の見直しを提言した。

完全週5日制の導入とともに学習内容が3割削減される02年度の前から、文科省も事実上の「ゆとり脱却」を進めてきた。「学力低下」批判

「ゆとり脱却」を進めてきた。「学力低下」批判
その前日、教育再生会議の第1分科会が「ゆとり教育」の見直しを提言した。

「ゆとり脱却」を進めてきた。「学力低下」批判
その前日、教育再生会議の第1分科会が「ゆとり教育」の見直しを提言した。

「ゆとり脱却」を進めてきた。「学力低下」批判
その前日、教育再生会議の第1分科会が「ゆとり教育」の見直しを提言した。

「ゆとり脱却」を進めてきた。「学力低下」批判
その前日、教育再生会議の第1分科会が「ゆとり教育」の見直しを提言した。

伊吹文科相は1日の記者会見で、再生会議について問われ、「二種のアドバイザだよね。さらに『そのアドバイスを首相がどう受けるか。私に相談もあるでしょう。できないものはないと申し上げるにやいか少ない』と申し上げるにやいか少ない」

「教員全体の数に比べ、と、ダメだとレッテルを張られて辞めた先生が少なすぎる」

「基準を明確にし、ほとんど排除するべきだ」分科会では、授業がきちんとできない不適格教員がやり玉に挙がった。いわゆるダメ教師を退

出させるための議論は、中教審でも何度か浮上し、今年7月、10年ごと

に、教職員組合などには、教職員組合などには、反対も予想される。「各学校が授業時間を決められるようにする」との提言が実現すれば、必修科目の履修漏れ問題などで伊吹文科相が「法的効力がある」と繰り返し答弁してきた指導要領

首相官邸も後押しする。安倍首相自身、著書でダメ教師の排除を明言。官邸にすれば、国民に身近な教育で思い切った策を打ち出せば、来夏

【教育再生会議・第1分科会の素案(要旨)】

- 《学力向上》
- 学習指導要領を改訂、ゆとり教育を見直す
- 1日7時間授業とし、夏休みや「総合的な学習の時間」を減らし授業時間を増やす
- 国語、英語、算数・数学、理科の授業を重点的に増加
- 各校が授業時間を決められるよう権限を強化
- 《教員の資質向上》
- 評価に保護者、児童・生徒などが参画
- 副校長、主幹を新設。部活動手当を引き上げ
- 5年・10年研修で不適格教員を審査
- 不適格教員の免許は更新しない
- 特別免許状を活用し、社会人採用者を教員の2割に
- 《学校と教育委員会》
- 意欲・能力のある自治体には権限を委ねる。そうでない自治体は国が指導・支援・監視
- 校長に教員人事の内申権を与える
- 校長、学校運営協議会が教員を任用する仕組みを導入
- 教育委員会の必置義務の見直しを検討
- 教育長は教員経験者に偏らせない
- 英国の教育水準局などを参考に、教委、学校などの第三者評価機関を設置。大学の教職課程も監査

中教審答申巡り 綱引き

「基準を明確にし、ほとんど排除するべきだ」分科会では、授業がきちんとできない不適格教員がやり玉に挙がった。いわゆるダメ教師を退

出させるための議論は、中教審でも何度か浮上し、今年7月、10年ごと

に、教職員組合などには、教職員組合などには、反対も予想される。「各学校が授業時間を決められるようにする」との提言が実現すれば、必修科目の履修漏れ問題などで伊吹文科相が「法的効力がある」と繰り返し答弁してきた指導要領

首相官邸も後押しする。安倍首相自身、著書でダメ教師の排除を明言。官邸にすれば、国民に身近な教育で思い切った策を打ち出せば、来夏

の参院選で追い風になる。「日教組が支持する民主党を揺さぶる材料になる」(文科相経験者)との思惑もある。